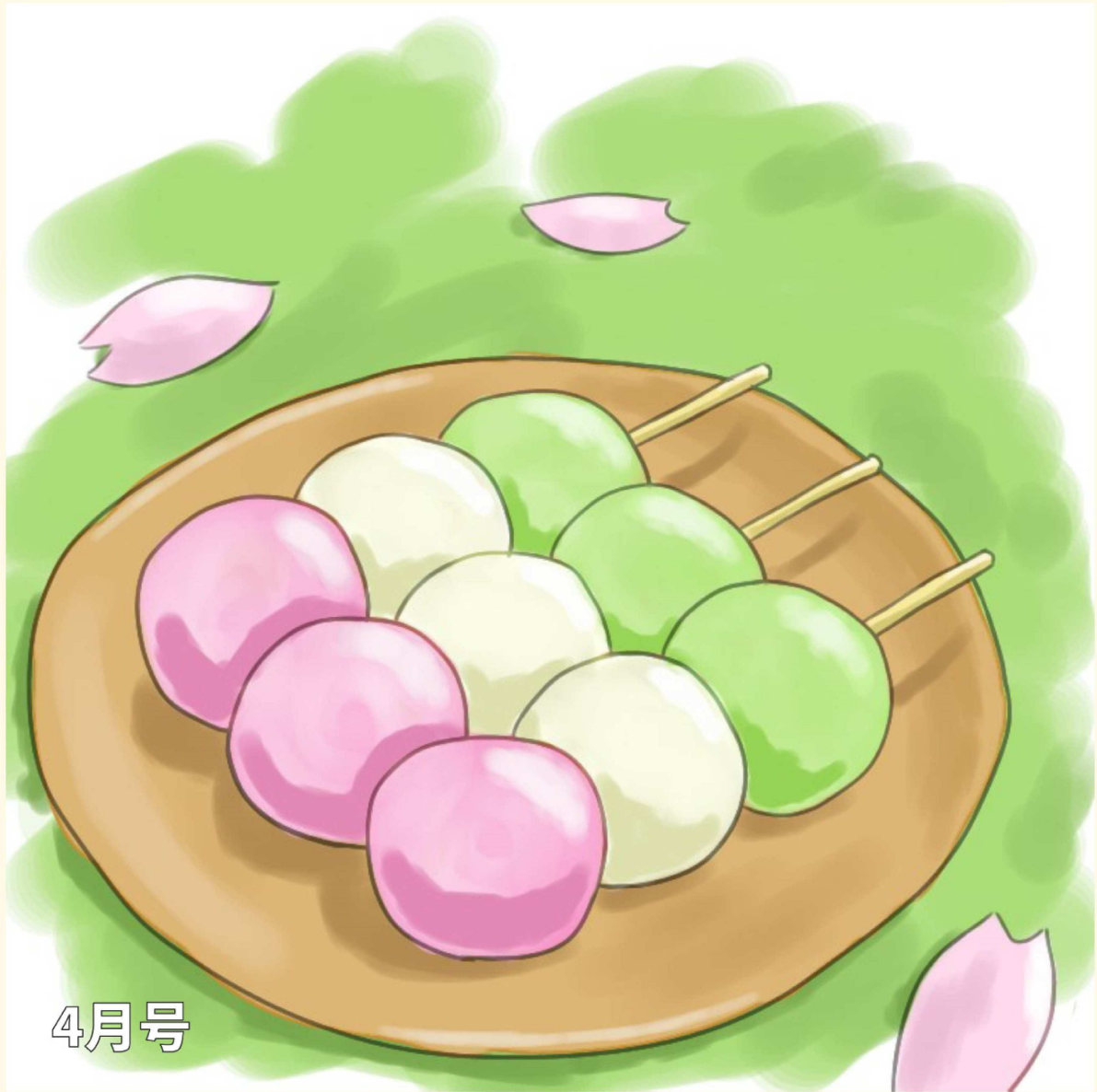


# こ くり ゆう だより



4月号

大阪府立池田高等学校 2年 越智 勝己  
「花より団子」



## 今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなが国際交流センターで開催します。



外国人のための

防災セミナー

4月22日(月) 13:30~15:30

定員：20人(申込先着順)

内容：日本の災害について学び、備えるセミナー。

英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、ネパール語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語の通訳あり。その他の言語については要問合せ

費用：無料

申込：4月18日(木)までに電話、来館、メールにて申込。

韓国・朝鮮の伝統芸能

パンソリを楽しもう

4月27日(土) 14:00~16:00

パンソリ唱者 アンソンミン・安聖民さんと鼓手 イチャンソフ・李昌燮さんによる演奏。

会場：すてっぷホール(エトレ豊中5階)

定員：120人(申込先着順)

参加費：無料

申込：4月4日(木)10:00~電話・来館・メールにて受付

## 【報告】2/17 (土) 外国人のための1日離婚相談ホットライン

2月17日(土)に大阪弁護士会と当協会が代表事務所を努める「協議離婚問題研究会(リコン・アラート)」との共催で、外国人のための1日離婚相談ホットラインを開催しました。

リコン・アラートは「配偶者に勝手に離婚される」という無断離婚の防止と被害者の救済のために、関係機関と連携して年1回、11言語での無料相談会を開催しており、当日は過去最多の24人から、のべ35件の相談が寄せられました。離婚に関する相談以外にも、夫婦の関係の悩みや離婚に伴う在留資格の問題など様々な問題が寄せられ、弁護士とリコン・アラートの相談員が対応しました。

今後も引き続きこの取組を継続し、必要な情報提供と支援を行っていきたく考えています。(協会事務局次長・山本愛)



対面と電話、Zoomでも対応しました

## 【報告】2/18 (日) 30周年記念連続セミナー『日本で暮らす難民移住者たち』

連続セミナーの第2回目は、『日本で暮らす難民移住者たち』と題して、カトリック大阪高松大司教区シナピス副センター長であるビスカルド篤子さんにご講演いただきました。

1月の国流シネマカフェでは、日本で暮らすクルド難民をテーマにした「マイスモールランド」の上映を行いました。今回は大阪で難民・移民の支援を30年続けて来られたご経験からお話いただきました。市民や協会ボランティアの関心も高く、約40人の参加がありました。

前半はビスカルドさんがシナピスで出会ってきた、外国人が法制度の外に置かれてしまった様々なケースについてご説明いただき、人々が難民となる社会背景や、日本の難民認定率が5.3%(2022年)という非常に低い中でも、「日本で生きていかざるをえない」外国人の生活についてお話いただきました。

後半は、難民認定を受けるための審査の厳しさについての話の一方で、コロナ禍以降、ビスカルドさんが関わった外国人が医療従事者へ医療用ガウンを作製し寄付を行った経緯のエピソードなど、彼らの「かわいそうで苦しい」側面だけでなく、「社会の一員として力を発揮すること」の大切さについても語られました。

移民・難民への支援では、難民認定や安定した生活につながる在留資格の取得など、当事者が求める結果が得られないケースも少なくありません。それでも、「私たちはあきらめてはいけません。門をたたき続ける、言い続けることに意味がある。」と力強く語るビスカルドさんの姿から、私たちにもできることのヒントをたくさんもらうことができたのではないかと思います。(協会職員・三木幸美)



当日会場のようす

## 【報告】3/2 (土) ATOMSふりかえり会

1年の活動をふりかえる『ATOMSふりかえり会』、今年も対面で開催し約30の事業から43人が参加しました。

例年、各事業2分ずつ、振り返りの内容を報告してもらっていましたが、今年はやり方を変え、6~7人の小グループで「運営での工夫」「活動して良かったこと」「将来的に取り組みたいこと、チャレンジしたいこと」について話し合いました。また、お互いの報告を聞いて、そこから「いいと思ったこと」「持ち帰りたい、取り入れられそうなこと」について意見交換をしました。

これまでと進め方を大きく変えましたが、熱気であふれ、「参考になる発表がたくさんあった」「ひざをつき合わせて話ができただけで今後つながれる可能性を感じた」といった声がありました。一方で「準備が大変だった」「時間が足りない」といった会自体の課題や「もっと研修が必要」といった運営面での課題も挙げられました。

今後も振り返り会の持ち方、協会事業全体の運営もブラッシュアップしながら、協会事業の振り返りの4つの視点(※)を大切に、多文化共生のまちづくりを進めていきたいです。(協会事務局長・山野上隆史)



※協会事業の振り返りの4つの視点…「居場所」「エンパワメント」「ボトムアップの組織づくり」「双方向性」

## 『消えてしまいそうな歴史』

協会事業(哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等)に参加していた辻明典さんが、2018年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

今のうちに、聞いておかなければ。

そういう思いが募り、今年から聞き書きを始めた。地域に住むお年寄りたちから、戦前・戦中・戦後の話を聞き、ノートにひたすら綴っていくのだ。

認知症が進行し、最近の出来事を覚えていられないお年寄りたちも、昔のことははっきりと覚えているのだから、人間というのは不思議な存在だと思う。六車由美さんの『驚きの介護民俗学』よろしく、驚くような生々しい歴史が、語りの中から現れてくる。

例えば、こんな話が印象に残っている。小学校から旧制中学校までの同級生のなかに、朝鮮半島出身の友だちがいたこと。すぐ近所に、水がちょろちょろと流れる小さな堀があって、そのそばに朝鮮半島出身の人たちが住む集落があったこと。そこに、同級生の友人が住んでいて、一緒に机を並べ、学び、共に遊んだこと。理不尽な差別は確かにあったが、少なくとも一緒に遊んでいた仲間たちは、その友人をのけ者にしようとは決してしなかったこと。戦争が終わり、今となっては定かではないが、その友人は帰還事業で朝鮮半島に帰つたらしい、ということ。おそらく帰還先は、現在の北朝鮮だったのだろう、ということ。

しかし、その朝鮮半島出身の友人は、公式な記録の中には、おそらく存在していない。同窓生の名簿のどこを探しても、彼の名前は載っていない。戦後の混乱、そして貧しい暮らしのなかで、旧制中学を中退して帰還してしまったからなのだろう。連絡先すらわからない。手紙を書きたくても、送り先すらわからない。しかし、認知症が進むそのお年寄りの記憶と、その語りのなかに、その朝鮮半島出身の友人は、確かに存在しているのだ。

2018年2月9日に、大韓民国で開催された平昌オリンピック。今でも、その日のつぶやきをはっきりと覚えている。セレモニーをテレビで見ながら、「ああ、あそこに、俺の友だちが住んでいるんだ」と語っていたことが思い出される。消え去りそうな歴史の潜みのなかに、耳を澄ませることで、その友人が存在していたという事実が、生々しさを伴って、浮かび上がってくる。

このままでは消え去ってしまう歴史というのは、そこかしこにあるのだろう、と思っている。



潮の引いた、ある日の松川浦の写真です。  
このような景色も、いつか変わってしまうのでしょうか。

### 【告知】4/27(土) パンソリを楽しもう! アンソンミン 安聖民さんパンソリライブ

唱者(歌い手)と鼓手(太鼓を打つ人)の二人で奏でられる、楽譜がない口承伝統芸能です。

パンソリの「パン」は多くの人々が集まる場所を、「ソリ」は音を意味しており、2003年にはユネスコの無形文化遺産に登録されました。

パンソリの世界を満喫するためのポイントは「声を楽しむ」「表情を楽しむ、場面を想像する」「チュイムセ(掛け声)を入れる」等…。唱者と観客との一体感が生まれるのも魅力のひとつです。

今回のライブは「水宮歌(スグンガ)」と「興甫歌(フンボガ)」Part.3の続編をお楽しみいただきます。また、みんなで楽しめるプログラムもあります。世代を問わずパンソリの魅力を感じていただける内容になっています。

幅広い世代のみなさんに参加いただければと思います!

日時・申込方法などは表紙ページ下部をご覧ください。



# 2024 4月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 もつと 相談	02 相談	03 休館日	04 千里 木ひる にこにこ 相談	05 金あさ にこにこ 相談	06 たまりば 相談	07 がちゃ 庄内 貸室抽選会
08 もつと 相談	09 相談 こんばす	10 休館日	11 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	12 金あさ にこにこ 相談 こんばす	13 相談	14 がちゃ 母語 サンプル 庄内
15 もつと 相談	16 おやこ 相談 こんばす	17 休館日	18 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	19 金あさ にこにこ 相談 こんばす	20 相談 外国人のための サッカー交流会 14:00~16:00	21 がちゃ サンプル 庄内
22 もつと 相談 外国人のための 防災セミナー 13:30~15:30	23 おやこ 相談 こんばす	24 休館日	25 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	26 金あさ にこにこ 相談 こんばす	27 相談 パンソリを楽しもう 14:00~16:00	28 がちゃ 母語 サンプル
29 昭和の日	30 おやこ 相談 こんばす	01	02	03	04	05

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

## \*センターが主催する定例事業\*

月曜日	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:00 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

## 今月のピックアップ

### 外国人のためのサッカー交流会 4月22日(土)14:00~16:00

みんなで楽しくサッカーをしましょう!

会場：マリンフード豊中マルチグラウンド

※雨の場合はありません。

豊中市利倉東2-22-1

(阪急宝塚線「服部天神」駅から西へ約1200メートル、徒歩15分)

定員：11人(要事前申込、先着順)

参加費：無料

対象：外国にルーツを持つ子ども・若者(10歳~39歳)

### とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第180号(2024年4月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F  
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

